

です。

○十九番（宮沢良一君）市長のビジョンありがたく聞かせていただきましたが、その多摩川浄化の面から言っても、またひとつそういう市長のビジョンも素晴らしい構想だと思えます。それはそれで御協力申し上げていきたいと思うとともに、それから、先ほど私が、たとえばということで、水族館あるいは飛行機博物館について、市長も、西口再開発地域にとどまらず、広範囲の考えで検討していくとこういう大変ありがたい答弁をいただきました。ぜひひとつ、すばらしい、福生市が観光コースになるようなふうにつくり上げてほしいと、このように強く要望する次第であります。

また、児童館については、ぜひひとつ、なるべく早く実現していただきたいとこのように要望いたしまして、私の質問を終わります。

○議長（田村市郎君）次に、十二番 遠藤洋一君。

（十二番 遠藤洋一君登壇）

○十二番（遠藤洋一君）通告に基づきまして一般質問をしていきますというふうに思います。

大韓航空機がソヴィエト機のミサイルで墜落をするという大変な事故が起きています。緊張の高まっているアリエーションあるいはサハリンとは言いながらも、民間機を攻撃をするという大団の論理あるいは緊張、米ソの対立の中で起こったこと、そういうことを考えますと、本当に大韓航空機だけの問題ではないような気がします。明らかに民間機とわかっていて飛行機を攻撃をすることなど、全く信じがたいことですけれども、現実起こってしまったことを考えていかなければならないのではないかというふうに思います。

さらに、大韓航空機の攻撃の際に、米軍のスパイ機がいたのではないかという報道も一部ありますけれども、横田にも飛来をした飛行機でありまして、なかなか人様のことは見え

ないという感じがします。

こうしたことが起こっている中で、ここ一週間ほどの基地の調査をいたしましたところ、言ってみれば、第五空軍の飛行機のほとんどが横田基地へ飛来をするという形で、まさに一触即発戦争の折には、わが町にある横田基地というのは、有事体制に入るんだなということをつくづく感じます。ここ四、五日私はおりませんでしたがけれども、大変に騒音が激しかったことを議員の皆様お気づきになっていらっしゃるのではないかとというふうに思います。

こうしたことには先立ちまして、七月の二十三日に、厚木の基地で米艦載機がオーバーランをしまして「見物の親子づれひやりと、近くに県道、さく越えれば大惨事」というような事故が起こりました。いまのは新聞の見出しからなんですけれども、実際に飛びましたAワコルセアという飛行機は、その直前まで福生におりまして、福生とそれから厚木の間を往復をし

ている際に事故を起こしているわけですよ。

こうして事故がまた起こりまして、これしになりましたからでも、一月の十九日には、P3Cという対潜哨戒機、横田にしようちゅうまいりますけれども、そのスノーブイという潜水艦を発見するための機材を落として、人の家の庭に落ちたようなことがありますし、三月には、横田でF4の着陸時、後輪が外れるような事故や、あるいは十五日には、嘉手納でB52が緊急着陸をして事故を起こす、四月四日に横田ではセスナ機が落っこちたりしますけれども、十九日には、航空自衛隊のC1が伊勢湾の菅島に墜落して、たくさんの方々が亡くなっております、二十六日には自衛隊のP51、これは山国で墜落しまして、十名死んでいます。二十七日には沖縄の嘉手納でF4がパンクをして炎上、六月六日にはやはり沖縄で自衛隊のヘリコプターが墜落をしまして、自衛隊員の方が亡くなったりしています。

こういった形で事故が頻発しているわけですから、この間、市長さんにぜひ伺っておきたいのは、緊急のことがありまして、今回の大韓航空のようなことがあったときに、横田基地は大変な騒音なんです。緊急のことですけれども、今回のたぐさんの飛行機が来たりすることについて、何か基地の方からその旨について市の方へ連絡があったのかどうかということ伺いたいことが一つと、こういった事故が頻発をしている中で、市は、その基地の周辺で起こる、われわれ日本人を巻き込むような事故がもしも起きた場合に、どのようなことを考えていらっしゃるのかということ伺っていききたいと思います。全く人ごとではないというふうに思っています。

それから、六月、七月、八月の離着陸数についても伺っていきたいと思います。

先ほど日本共産党の原さんの方から、最近、騒音がひどいのではないかという質問が出ましたけれども、具体的には、二

つ胴体を持って、二つプロペラを持つOV10ブロンコという飛行機が、市内の上空での訓練飛行を開始をしています。明らかに開始をしています。ことしの一月、二月、三月の調査の中でも、C130やその他の小型、中型の飛行機の市内の上空での訓練というのは、横田基地に離着陸をします。全体離着陸数の何と三〇％を占めているということですから、大変な数が訓練をするわけですから、ここしばらくの間も、OV10型機はずっと市内の上空を飛行しております。

先日、お年を召した方に聞きましたら、最近、P38のようなものが飛んでいるが、一体あれは何だね、と聞かれました。多分、双胴で、二つの胴体がありまして、二つのプロペラがついているものですが、古い型を思い出したのかもしれませんけれども、アメリカの空軍の攻撃機で、韓国にいるのがここに来ていたわけですから、それらのことについては、市長の方がそのことについて聞いているかどうかということをお伺いしておきたいと思っております。

それから二項、三項に関しては、都の行政に関する事で、市がそれに対して幾つか関連を持っていきますので、その市の行政の事を伺っていきたいんですが、一つは、一昨年からずうっと問題になっております都立保育園の市町移管の問題です。

経過については、もうここで述べることもないと思えますけれども、市長さんとしては、あるいはこの改正になりました前の議会におきましては、都立保育園の市への移管については、経済的な側面から、負担が非常に重いので賛成できないという形で、それを遠慮したいということをお願いしております。

それから、市長さんにおきまして、そのときの決意はすっかり変わっていらっしやらないと思えますので、ここで、あえて市長の決意をもう一度確かめるといふことはしませんけれども、ことし、また九月がやってまいりました、都の予算がまたここで新しくなってくるんですが、都立保育園の去年の九月には、都立保育園で働いている人たちの給与の方が、すべて仮の扱い、

つまり、定員よりも多いけれども、臨時的な措置としてそこに臨時予算をつけていくという形で給料を保障していたわけです。そのままの形でことしやってきました。

ここでもまた九月になりました、そのところでもって、予算の措置の問題も含めまして、この都立保育園の移管については、その後、何か都の方から言ってきたのか、あるいは態様の変化があったのかということ、ぜひ伺っておきたいというふうに思っています。

それから、もう一つは、都営住宅建設についてなんですけれども、この一般質問を提出しましてから、その後、いまこれから質問する中身を、周辺の住民の方が陳情をお出しになっているような話も聞いております。まだ議題にもちろん上ってませんし、議運にもかかっていませんから、そういう噂を私聞いているだけなんですけれども、重なるところがあるかもしれないので、一応、いま武蔵野台の所に新しい都営の住宅が建

設の予定が始まっています。

住民の方たちには、すでに説明会という形で始まりまして、三階建てと五階建てという形、あるいは五階建てという高層の住宅ができるという話が始まって、説明会が始まっています。その中身はともかくといたしまして、都営の住宅建設につきまして、新設に関しては、具体的に始まったのは武蔵野台なんですよけれども、それ以上に新しい計画などがあるかということ伺いたいのと、この武蔵野台の都営住宅の建設について、市とそれから都の行政サイドでは、どのような形で話が始まって、いま、どのような経過になっているかということ、ぜひ伺っておかなければならないというふうに思っています。

それから、最後に、セタについてなんですけれども、ちょっと唐突な書き方をしまして申しわけなかったんですが、セタの全体について伺っているのではなくて、市がセタの実行委員会に

参加しているということで、セタの装飾の問題について伺いたい。質問がずいぶん抽象的になって申しわけないんですが、それそれのお店がいろいろ努力をしまして、飾りつけをして、たくさんの方々があちらこちらからものすごい多くの人たちが来て、セタを楽しんでいるわけですよ。すばらしいお祭りだと僕も思いますし、ことしも何度もセタの見物に出かけましたが、その中で、そのセタの飾りつけの基準等というものがあるのかなということ、ちょっと考えることがありましたので、行政というか、市の方では、セタの飾りつけについてはどのような考えでいるのかということ、伺って、再質問を続けていきたいと思えます。

一応この四項目について質問していききたいと思います。よろしくお願いします。

(市長 田村匡雄君登壇)

○市長(田村匡雄君) 遠藤議員さんの御質問にお答えいたします。

ます。

横田基地についてでございますけれども、事故などの市の対応策についてでありますけれども、大韓航空機の事故等について、横田基地へ米軍の横田基地以外に常駐している飛行機が来ているが、連絡が来たかというようなお話でございますけれども、そういった連絡は一切ございません。

それから、前々からブロンコ等の飛行機が訓練として横田へ来ているのではないかというようなお話でございますけれども、こういったことについても、現在のところ通知、通告等はございません。こういった関係ができたならば、常駐とかそういったことになったならば、速やかに報告してくれというふうには、防衛施設庁を通じて司令官等にも話がしてございます。また、私も、直接司令官等にお会いしたときには、そういった話をしておりますが、現在のところ、そういったようなことはございません。また、そういったもしか事故があったときにはどうするかと

いうようなことでございますけれども、この関係につきましても、防衛施設局、消防、警察等で構成している米軍及び自衛隊飛行場周辺航空事故等連絡会議と連携をしながら、迅速に処理していきたいというふうに考えております。

それから、第二点の、六月から九月期の離着については部長から答弁をいたさせていただきます。

保育行政についてでございますけれども、この件について、その後の経過でございますけれども、東京都は、この問題については、一度市の意向を打診にまいりましたか、基本的な考えは、従来と変わっておりませんと答えをしております。

また、予算措置の問題でございますけれども、九月までは都の直営としてみなされ、十月からは補助入金として計上されておりますが、移管問題が解決しない場合は、流用して対処していくとでございます。

それから、都営住宅の建設についてお答えいたします。

御質問の都営住宅の建設について、若干の経過を申し上げますと、御承知のように、武蔵野台地区にある都営福生住宅は、昭和二十八年に建てられた五十八戸の木造平屋のまゝ現在に至っておりますが、建物の老朽化等により、今回その建てかえ計画が当市に対して説明がございました。その計画によりますと、この概要は、中層耐火構造による三階、四階、五階建て四棟であります。戸数にして百四戸となっており、昭和五十八年から五十九年にわたり事業を施行する予定になっております。

次に、ことしの八月になって、地域住民への説明会を行つたわけでございますが、この説明会の中で、住民から二、三の要望事項がございます。現在、住宅局において折衝中とのことでございます。

次に、七夕についてでございます。

福生七夕祭りにつきましましては、御承知のとおり、市の産業

開発と商工業振興を目的にいたしまして、昭和二十六年から実施されて、本年で三十三回を終わることができました。これら七夕祭り実施に当たりましては、実行委員会、企画委員会等の組織により協議を重ねて実施しております。おかげさまで、今日まで事故もなく続けられたことは、市民を初め関係者、関係団体の御協力のためものであると考えております。

また、各商店におきましては、毎年、飾りつけ等に創意工夫をされ、多くの方々の目を楽しませております。これら飾りものについては、実行委員会としましては、福生七夕祭りにふさわしい優美、風雅なもので、伝統と近代的感覚を調和したものを、各商栄会に実行委員会を通じてお願いしております。また、飾りものにつきましては、各商店で、その出し物については二、三ヶ月前に決め、準備し、七夕当日公表ということに、それぞれがその商店街で実施しておりますのかいまの現

状でございます。

答弁とさせていただきます。

○市民部長（井上久男君）六月から九月期の離着陸についての御答弁を申し上げます。

本年、六月から八月までの離着陸数については、リサイクルセンターの上に設置してあります測定器のデータに基づいてお答えをいたします。

六月の飛行回数は千三百六十五回で、一日平均四十五回、最高に飛んだ日は六月の二十九日で、百十二回でした。騒音の最高は、三十日の一一三ホーンでした。

七月の飛行回数は千三百九十六回で、一日平均四十五回、最高に飛んだ日が七月の二十六日で、百三回でした。騒音の最高は、三日の一二四ホーンでした。

八月の飛行回数は千三百四十八回で、一日平均四十三回、最高に飛んだ日は、八月の三十一日の百三回、騒音の最高は、十二

日の一二七ホーン、以上で飛行実態を終わります。

○十二番（遠藤洋一君）市長の方から御答弁をいただきましてありがとうございます。

横田に、大韓航空のあのすごい話があった以降も、特にそれについて、大量の飛行機が来ていることについての話はないという、あるいは訓練はないということなんですけれども、大韓航空の事故についても、これからもあるかもしれないと、これについてもこれ以上質問しないですけれども、ブロンコなどが訓練をしていることについての認識を市長さんは持っていないしやるわけで、通告はないんでしょうけれども、これからそのことについて、司令官が合同委員会の方に話をするようなことになるかどうか、ちょっと伺いたい。

というのは、僕の調べでは、ブロンコはもう韓国にいないんだろうと思ったら、実はいまして、逆に言いますと、ブロンコを本土に戻さないで、なおかつずっと置いておいて、しかも訓練区

域をこの辺でやるのではないかという心配がちょっとありまして、まさか訓練のために常駐するということはありません。思います。けれども、ぜひこういう話をしていただけるかどうかということをお願いしたいのと、もう一つは、常駐その他になれば、という、つまり態様の变化です。ね、態様の变化というのをどこに置いていらっしゃるのかということ、実はずっと気になっていたんです。ね、部隊をここに移すということが態様の变化というふうには、いままでずっと合同委員会の話の中で、そこに基準を置いてこられたのかどうかということなんです。それで、C130の部隊が来るとか、それから、いままででしたら、ずっと過去で、F-5部隊が来るとかそういうことは言われていきます。ね、そうすることが態様の变化というふうに考えて、あるいは状況的に、C5Aギャラクシーのときのように、ずっといるみたいな感じですけども、ここで態様の变化の中身を言

っているのかということをお願いいたします。

それから、もちろん事故が起きたときの、先ほどの米軍と自衛隊との間の航空事故等連絡会議については、よくわかりました。それについては結構です。ぜひ、いまのところさもう一度伺っていきたいと思います。

それから、市民部長に伺いたんですが、毎回丁寧に数を言っていたいてありがたいと思っておりますけれども、これ、昼、夜というふうに分けられますか。ね、昼の時間帯では、この数で、たとえば八時から六時までにはしようか、あるいは六時から六時にしようか、そういうふうに分けるような質問をしますと、そのデータが出てくるかどうかということをお願いいたします。もしも出てくるものならば。

いま、市に騒音なんかで市民の皆さんが気になさっているのは、夜間なんです。ね、昼も気になりますけど、夜中、特にE2Bなんかそうですね、飯どきから朝にかけてぶんぶか

ぶんぶか。九月の一日に、僕の記憶ではE2Bが来てると思うんですが、ぶんぶかやってまして、それがすごく耳にさわるものですか。確かに、毎日の数が出て来る、いつも答弁ありがたいと思ってますけれども、それができるかちよつと伺いたいと思います。

それから、保育のことなんですけれども、先ほどの市長さんの説明で、十月から補助金の形になったということですが、この間に、二市二町の担当部長さんの間で、協議などということはないままに、たかということを伺いたいんです。この間で六月から九月まであるわけですけれども、その都のいまの都立保育園の関連で言えば、都側に言えば、つまり移官できなかったわけです。これらにつきまして二市二町、つまり青梅、福生、羽村、瑞穂の部長さんたちが協議をしたのではないかと、いうふうにちょっと思っているんですが、その事実があったかどうか、あれば中身はどうしたのかと思って

伺いたいと思います。

それから、都営の方ですけれども、住宅の問題なんですけれども、行政レベルで、つまり、市としてはそういう話を都の方から受けたというふうに理解しました。

それで、住民の方からは、要望が住宅局との間に話が出てきているんですけれども、日照の問題、あるいは環境の問題、駐車場の問題等々が出てきたわけなんです。

それらについて、市の方は、都からの説明がこれだけのもの、はい、ああそうですかーと言って。僕は、人口がふえるし、いい住宅ができるんですから、この住宅難中それは結構だと思ふし、だれも反対はしていない。住民の方々も、そういうふうになく反対していない、歓迎はしているけれども要望があるということなんですけれども、それかどういいうもう少し細かい中身で、都営住宅について市の方へ来たかというところをもう少し伺いたいと思います。